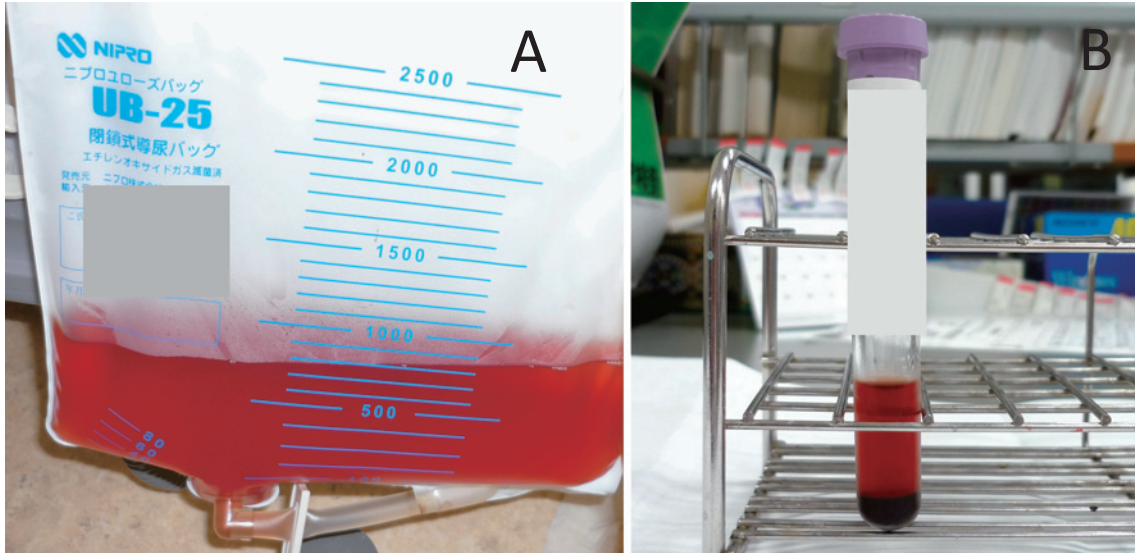


抗 C 抗体と抗 e 抗体による遅発性溶血性副作用



岡 智子¹⁾ 山本 三鈴²⁾ 山崎 純代²⁾ 白神 大志¹⁾ 直川 匡晴¹⁾

1) 日本赤十字社和歌山医療センター血液内科部

2) 日本赤十字社和歌山医療センター輸血検査部

キーワード：遅発性溶血副作用，抗 C 抗体，抗 e 抗体

妊娠歴と輸血歴のある 77 歳女性. 2012 年 5 月大動脈弁狭窄症に対し大動脈弁置換術を受けた. 輸血前不規則抗体スクリーニング検査(生食法, PEG-IAT 法, プロメリン法)は陰性. 術中, 交差適合試験(プロメリン法)適合の RCC 8 単位が輸血された. 輸血後 15 日目に 39℃ の発熱, 黄疸, 肉眼的血尿(図 A), 末梢血検体での溶血所見(図 B), 貧血の進行, LDH の高値, 血清 Cr の増加を認めた. この時の不規則抗体スクリーニング検査で, 抗 C+抗 e が検出された. ハプトグロビン

投与, 腎不全対策, DIC 治療等により輸血後 30 日目溶血所見は改善した. 遅発性溶血性副作用は, 妊娠歴や輸血歴を有する患者で, ABO 以外の血液型抗原に対する不規則抗体により生じる二次的免疫反応である. 輸血前の不規則抗体は検出感度以下で, その発症を予測することは困難であるが, 輸血数週間後に出現する溶血性副作用として認識しておく必要がある.

著者の COI 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

DELAYED HEMOLYTIC TRANSFUSION REACTION DUE TO ANTI-C AND ANTI-e ANTIBODY

*Satoko Oka*¹⁾, *Misuzu Yamamoto*²⁾, *Sumiyo Yamazaki*²⁾, *Hiroshi Shiragami*¹⁾ and *Masaharu Nohgawa*¹⁾

¹⁾Division of Hematology, Japanese Red Cross Society Wakayama Medical Center

²⁾Blood Transfusion Center, Japanese Red Cross Society Wakayama Medical Center

Keywords:

Delayed hemolytic transfusion reaction, Anti-C antibody, Anti-e antibody

©2014 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://www.jstmct.or.jp/jstmct/>